

8月21日：VN指数はわずかに反発（VN-Index +0.15%）

- 前営業日に急落している中、VN 指数はほぼ変わらずで取引を開始し、横ばいで取引を開始していた。
- その後、不動産セクターを中心に売り圧力が強まり、指数は下落していった。
- しかし次第に銀行株を中心とした押し目買いが入り始め、指数は上昇に転じた。
- その後は、様子見姿勢が強まり、わずかな上昇で取引を終えることになった。
- 200 銘柄が上昇、276 銘柄が下落、49 銘柄は変わらずだった。
- 流動性は前日比で低下し、売買代金は 22.1 兆ドンだった。

VN30 指数はほぼ横ばい（VN30 +0.02%）

- 大型株で構成する VN30 指数は 18 銘柄が上昇、11 銘柄は下落した。1 銘柄は変わらずだった。
- 上昇をしたのは、銀行セクターが中心だった。BID（+3.2%）、CTG（+4.2%）、STB（+1.6%）、TPB（+2.2%）などが挙げられる。
- 一方、VIC（-1.6%）、VHM（-1.4%）、GVR（-2.8%）、MWG（-2.4%）などは大きく下落した。

セクター・個別株の動き

- HPG（-1.1%）、HSG（-0.8%）、NKG（-4.8%）といった鉄鋼セクターが振るわない。国内の鉄鋼価格が 17 か月連続で下落している。
- DQC（-3.6%）は 2023 年上半期の監査後の純利益が 56%減となったことから下落した。
- 外国人投資家はホーチミン市場で 876 億ドンの買い越しに転じた。VIC と CTG は最も買われた。一方、KDC と SSI に売りが集中した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。